

神戸ワインのブランドを支える品質の高いワイン専用ぶどう ～農事組合法人印路生産組合～

経営体の概要

現在：平成28年
 基幹作物：ワイン専用ぶどう
 経営面積：8.6ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

前歴事業をきっかけに法人化準備委員会を立ち上げ、平成3年「農事組合法人印路生産組合」を設立した。

現在の基幹作物である「ワイン専用ぶどう」は、それまで栽培経験がなく、普及センターや市の指導で栽培方法を学んだ。現在、同法人の構成員数は7名で、一般財団法人神戸みのりの公社（以下「公社」）と契約し、神戸ワインのブランドを支える品質の高い原料ぶどうの栽培に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①作物の変化

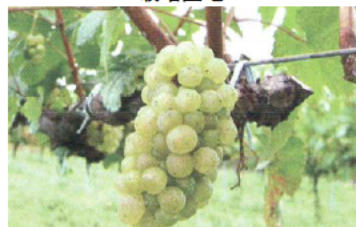
事業を契機に、それまで栽培経験のなかったワイン専用ぶどうの栽培に取り組んだ。栽培品種は、シャルドネ、信濃リースリング、メルローで、なかでも信濃リースリングは国内でも生産量が少ない品種でこの地名をつけたワインも販売され、人気が高い（写真）。現在、26年目を迎える樹木について、赤白ワイン用にそれぞれ更新品種の試験栽培にも取り組んでいる。



「垣根仕立て」のワイン専用ぶどう栽培園地

②栽培技術の確立・向上

地域の気象の特性として風害を受けやすい地域であったため、風害を受けにくい「垣根仕立て」方式とし、樹間を広く（3mと4m）して農業用機械を用いた効率的な作業ができるよう植栽している。品種ごとに一斉に作業を行い作業効率を高める一方、樹木の管理（剪定・誘引作業等）は、個人が担当する樹木を一年を通じて管理することで、成長を見ながら的確な栽培管理を行っている。栽培技術を互いに確認し、全体の栽培技術の向上を図るとともに、公社や普及センター等関係機関からアドバイスを受け試行錯誤を繰り返しながら、日々の栽培記録と分析で栽培技術を確立している。



信濃リースリング

③品質の向上

開花時や果実肥大の時期に、給水栓やスプリンクラーなどの設備を利用し、適時適切なかん水作業と防除作業を行い、遅れ果等の品質低下が発生しないよう品質管理に取り組んでいる。



地名をつけたワイン
「神戸印路シナノリースリング」

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：兵庫県神戸市、明石市、加古川市、
 三木市、加古郡稲美町
 受益面受：7,313ha
 事業期間：平成25～33年度
 事業目的：用水改良
 主要工事：ダム2箇所、揚水機場1箇所、
 用水路L=14.9km等

位置図（兵庫県）



東播用水二期地区

<問い合わせ先>

近畿農政局 農村振興部
 農村環境課 営農担当
 電話：075-451-9161
 （内線2452）

（平成28年度調査時点）